

令和6年度 国語科 「国語研究Ⅱ」 シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	理数科 3 年H組
教科書	論理国語 (筑摩書房) 古典探究 古文編 (筑摩書房) 古典探究 漢文編 (筑摩書房)	副教材等	「読解評論文キーワード改訂版」(筑摩書房)、「つながる・まとまる古文単語」(いっずな書店)、「新精選古典文法」「新精選古典文法演習ノート」(東京書籍)、「精選漢文」「精選漢文ノート」(尚文出版)、「新訂総合国語便覧」、「新版 読み・解き・覚える日本文学史必携」(第一学習社)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書や古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
前期	4	推論の仕方について理解を深め、発表やレポートを作成する際に使うことができる。	人と世界を結ぶことばの働きを理解する	評論 「一〇〇パーセントは正しくない科学」 (更科 功)	・物事を筋道立てて考えるために役にたつ論理学の用語や、科学における仮説の意味などを学ぶ。 ・身近な出来事から推論の例を考え、本文にならってその推論を図に書いて説明する。	行動の観察 ワークシート分析	
	5	作品内の人物関係や出来事を読み取ることができる。	宮廷社会に生きる作者の思いを理解する	古文 『枕草子』 上にさぶらふ御猫は(第七段)	・随想という文章の種類を踏まえて、登場人物や話の展開を整理する。 ・敬語や文法事項を理解し、古典の語彙を豊かにする。	行動の観察 記述の確認	
	6	文章の種類を踏まえて、構成や展開の違いを理解することができる。	主張を読み取り、文学独自の価値を宣言した文体の特徴を捉える	漢文 『文選』論文 曹丕 第1回考査	・「文」の種類と「文章」の価値とについて概要を理解する。 ・句法を理解するとともに、日本と中国との関わりについて理解を深める。	記述の確認 ワークシート分析	
	8 9	人間・社会・自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。	ことばによって語るといふ行為の意味を捉える	評論 「物語としての自己」 (野口裕二)	・本文で論じられた物語の作用について理解し、自分がどのような物語を語っているか、考える。	行動の観察	
		7	長編物語の展開と人物の状況や思いを理解することができる。	長編物語の魅力を味わう	古文 『源氏物語』 車争ひ(葵巻) 心づくしの秋(須磨巻)	・語句や敬語の正確な理解によって、場面や状況を的確に捉える。 ・登場人物の心理や行動の描き方を深く味わう。	行動の観察
			背景や状況を踏まえ、登場人物の言動の真意を理解することができる。	史伝に記された登場人物の言動の真意を読み取る	漢文 『史記』司馬遷 「怒髪上衝冠」 〈廉頗藺相如列伝〉 第2回考査	・句法を理解するとともに、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・当時の武将の描き方を理解し、自分のものの見方、考え方を豊かにする。	行動の観察 ワークシート分析

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握することができる。	抽象性の高い文章を整理し、理解する力を深める	評論 「過剰性と希少性」 (佐伯啓思)	・現代社会における「相互模範的な欲望」にはどのようなものがあるか、具体例を挙げながら話し合う。	行動の観察 記述の確認
	11	物語の解釈を踏まえて、自分なりの考えを深めることができる。	歴史を語る物語作品と、自分の知見を結びつけて考えを広げる	古文 『大鏡』 菅公配流（時平） 道長、栄花への 第一歩（道長上）	・歴史物語という文章の種類を踏まえて、構成や展開を的確に捉える。 ・具体的なエピソードを通して登場人物の人物像を読み取る	行動の観察
		作品が成立した背景を踏まえて解釈を深めることができる。	親密な人間関係から表出した心情が記された文章を読む	漢文 『古文真宝・後集』 諸葛亮 「前出師表」	・「表」という文章の種類と特徴について理解を深める。 ・文章が書かれた背景を理解し、書き手の目的や意図を捉えて内容を解釈する。	行動の観察 ワークシート分析
	12			第3回考査		
後期		新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。	新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる	評論 「戦争と平和についての観察」 (中井久夫)	・筆者のことばを手がかりに「戦争」についてかんがえ、どのようなものが人の目をくらませるのか、調べながら読む。	行動の観察
	1	文章の構成や展開に注意し、作者の考えを理解することができる。	文学を論じる評論を読み、人間、社会、自然に対する思考を広げる	古文 『俊頼髓脳』 連歌	・歌学書という文章の種類を踏まえて、連歌についての作者の考えや根拠を読み取る。	行動の確認
		普遍的な価値についての考えを深めることができる。	諸子の思想を読み、自己の考えを深める	漢文 柔之勝剛〈老子〉 守業〈韓非子〉	・反復・対偶、逆説的な表現を駆使して真理に肉薄する言説の力強さを味わう。 ・非情とも思える主張の正当性を、誇示を例に用いて証明する言説の鋭さを理解する。	行動の確認 ワークシート分析

3 評価の観点

知識・技能	<p>ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>ウ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>オ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>カ 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>キ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p>
思考・判断・表現	<p>A 書くこと</p> <p>ア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p>B 読むこと</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉えている。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて新たな観点から自分の考えを深めている。 キ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

4 評価の方法

評価規準に従い、定期考査の結果、提出物の内容、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

人間はどのように他者と向き合い、社会を営んでいくべきなのでしょう。理屈では解けないこの問題に対して、多種多様な視点で述べられた評論文や古典作品は粘り強く、言葉の力によって道筋を示してくれます。是非、授業外でもたくさんさんの文章、作品に触れてください。また、授業前には音読や語句の意味の確認は予習として必ず行ないましょう。